

○国立大学法人鹿児島大学産学官連携に係る利益相反マネジメントポリシー

平成17年9月20日

役員会決定

国立大学法人鹿児島大学(以下「本学」という。)の使命は、教育、研究及び社会貢献であり、その社会貢献の一形態が産学官連携である。

産学官連携推進の過程では、本学の役員及び職員が企業等から得る経済的利益と本学がその使命に基づき役員及び職員に求める責務とが、あるいは兼業等による企業等に対する職務遂行責務と本学における職務遂行責務とが、衝突し相反する場合も生じ得る。いわゆる利益相反(conflict of interest)といわれる状態である。

本学は、別に定める産学官連携ポリシーに従い産学官連携活動を積極的に推進していくにあたり、これに伴い不可避免的に生じ得る産学官連携に係る利益相反を克服し、本学と役員及び職員が公正かつ効率的に業務を実行するため、以下にその基本的な考え方を示す。

- 1 本学は、産学官連携による研究成果の社会還元を積極的に推進し、役員及び職員に対しかかる活動を奨励する。
- 2 本学は、役員及び職員の産学官連携に係る利益相反を適切なマネジメントにより克服する。
- 3 本学は、産学官連携に係る利益相反マネジメントを円滑に行うため、国立大学法人鹿児島大学産学官連携に係る利益相反マネジメント規則を整備する。
- 4 本学は、本ポリシーについて、関係する産業界、官公庁等に対しても理解と協力を求める。

以上